

# PICK-UP!

学生の気になることを調査します!

interview by A.Nakajima & T.Tsukamoto & Y.Edamatsu & Y.Kurimoto & Y.Akasaka & K.Maruyama & A.Tsujisaki

FILE No.09 トークイベント「友だちのピンチにできること」



インタビューの完全版をWEBで公開!  
詳しくは本誌14ページへGO!!



高校生編集部も参加!  
詳しくは、このページ下をCHECK!

## トークイベント「友だちのピンチにできること」



友だちのSOSには  
“教室(きょうしつ)”

### 『友だちのピンチ、身近なおとなに話そう。』

友だちのSOSを大人に知らせる重要性を伝えるキャンペーン。人生におけるピンチは「自分自身を含めて誰にでも訪れるもの」であり、一人で抱え込むものではないことを「教室(きょうしつ)」というスローガンを通して伝えるため、全国に行われています。

き ぎづいて  
よ よりそい  
う うけとめて  
し しんらいでできる大人に  
っ つなげよう。

### TALK GUEST

加藤 ミリヤさん (シンガーソングライター・キャンペーンメッセンジャー) × 窪田 由紀先生 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科 心理発達科学専攻 教授、臨床心理士)

「友だちのピンチにできること」をテーマに、メッセンジャーの加藤ミリヤさんと臨床心理士である窪田由紀先生のトークセッションが行われました。ミリヤさんは自分も悩みの多い学生時代だったと語り、だからこそ伝えたい思いをこめて自身の曲を披露。来場者にとって、友だちのためになにができるかを考えるきっかけになりました。

高校生  
S.U.EETS!

S.U.EETS! に新展開!!!!  
高校生編集部  
発足★

学生が学生に向けて発信するS.U.EETS!に、いよいよ高校生が参加!  
今号から編集会議や取材にも参加して大活躍☆ 高校生の目線で高校生のHOTな情報も発信します!



あみ(高2)

編集会議は初めての私たちでもわかりやすかったです! 加藤ミリヤさんへの取材は緊張しなかったけど、とても良い経験に♡ これからもスタッフとして頑張っていきます!



かりんりん(高1)

大学の皆さんが優しく説明してくださり、楽しく活動することができました。原稿を書くのは大変でしたが、とても勉強になります! これからも積極的に活動したいと思います!



みき(高1)

編集に携わるのは緊張しましたが、「わからないことがあったらいつでも言ってね!」と温かく声をかけていただけたのが嬉しかったです。将来編集者になりたい人にはめっちゃおすすめです!

## SPECIAL INTERVIEW

Q 今回の活動について教えてください。

加藤 「友だちのピンチ、身近なおとなに話そう。」というキャンペーンを、たくさんの人に伝えるメッセンジャー役が私です。特に伝えたいのが中高生。10代のときは自分自身悩むことがたくさんあるし、友だちも同じように悩んでいる時期ですよ。そして、本当に悩んでいる子はなかなかそれを打ち明けられないもの。そういう気持ちにみんなが気づいてあげよう、そして身近な大人に相談していこうって呼びかけているのが、このキャンペーンです。

窪田 本当に苦しくなった時って、自分からSOSを出せなくなるんです。それに、10代の時は大人の前で悩んでる姿を見せたがらないもの。やはりそこは、友だちしか気づいてあげられないので、みんなの手を貸してもらえたらと思います。

Q ミリヤさんは、学生時代に相談しあうことはありましたか?

加藤 私の場合は聞き役に回ることが多かったんです。友だちが悩みを聞いてほしいと思っているのは伝わるので、余計なこと言わずに話を聞いたり……。私は感情の起伏が激しいタイプなので、聞いているうちにすごく涙が出ちゃったりもしんですけど、相談してくれた友だちはそれだけでもスッキリしたみたいです。

窪田 実は「ただ聞くだけ」っていうのが、意外と難しいんです。つい、いろいろ言いたくなっちゃう。でも、涙が出るくらいしっかり受け止めてくれる友だちがいれば救われますよね。



取材: (下段左から) 辻崎 愛海、栗本 優香、中島 彩香、赤坂 勇輝、枝松 勇人、塚本 匠、丸山 花梨



Q 当時の経験は、メッセンジャーを務めるうえで役に立っていますか?

加藤 みんなが抱えている悩みをキャッチしたいと思うのは、10代の時の経験があったからこそだと思います。

Q ミリヤさん自身は音楽で救われた経験はありますか?

加藤 私が音楽活動を始めたのは、自分で自分を救うためでした。それが自分の生まれた意味だと思っていたんです。でも、世の中に歌手として知ってもらえるようになって、私の歌を聴いてもらえるようになった時、私の歌は自分だけのものではなくなったんだなって。その瞬間、あらためて救われたと感じました。

Q 悩みと戦っている学生に、エールをお願いします!

加藤 私が学生の頃は、漠然とした悩みや不安は自分でなんとかしなきゃいけないと思っていました。でも、このキャンペーンを通して気づいたのは、自分から一歩踏み出せばわり合える人たちがきっと居たってこと。だから、自分で解決できないことは勇気を出して身近な人に相談してみてくださいね。

窪田 悩むのはいろんなことを一生懸命考えているからこそ。悩むのは当たり前なことだし、いつか必ず終わりがきます。勇気を持って誰かに話すことで、そこから変わるんです。このメッセージがみなさんに伝わって、その周りの苦しんでいる人たちにも伝われば、嬉しいです。

### PROFILE



加藤ミリヤ (シンガーソングライター)

'88年生まれ。'04年に「Never let go / 夜空」でデビューすると、リアルで等身大歌詞とメロディセンス、その生きざまが支持され、瞬く間に“女子高生のカリスマ”として人気に。'10年には「VOGUE JAPAN WOMAN OF THE YEAR」の10人に選ばれる。デビュー10周年を迎える現在も現代女性の愛や葛藤を歌い続け、“時代の代弁者”と呼ばれ共感を呼んでいる。'15年3月から自身最大規模の全国ツアーをスタートさせる。

### DISC INFO.

「少年少女」 ¥1,680 (tax in)



now  
on  
sale

LIVE  
INFO.

加藤ミリヤ  
10th Anniversary  
“A MUSE” Tour 2015

5/16(土) 旭川市民文化会館  
5/17(日) ニトリ文化ホール  
開: SMASH EAST  
011-261-5569

募集!

S.U.EETS! 高校生編集部  
STAFF

私たちと一緒に S.U.EETS! を作りませんか!?

未経験者大歓迎★

14人の高校生が登録!

他校の高校生や大学生と交流!!

【お問い合わせ】  
札幌大学・札幌大学女子短期大学部 経営企画室  
TEL 011-852-9190  
E-mail koho@ofc.sapporo-u.ac.jp

※交通費は負担いたします。アルバイトではありません。

Welcome!